

財政学総論試験問題

2006.2.4

I. 次の用語を簡単に説明しなさい (3 行前後で述べる事)。 (各 5 点, 計 40 点)

(1) パレート改善 (2) 契約曲線 (3) 価値財 (4) ロールズ型社会的厚生関数 (5) 社会的割引率 (6) 従量税と従価税 (7) 代替効果と所得効果 (8) 垂直的公平性

II. 公共財の最適供給についてのサミュエルソンの条件を個人が 2 人いる場合について導出し, 条件の含意を詳しく説明しなさい。 (15 点)

III. 「人頭税 (一括税) は超過負担をもたらさない」という命題に対する反例を具体的に 1 つ挙げなさい。 (5 点)

IV. 費用便益分析における (1) 現在価値基準, (2) 内部収益率基準, (3) 便益費用比率基準の 3 つについて説明し, どの基準を用いるのが適切であるかの教科書の説明を書き, 教科書の説明についてのあなたの意見を述べなさい。 (20 点)

V. 従量税を買い手に課す場合と売り手に課す場合では帰着に差が出ないことを図解して説明しなさい。 (10 点)

VI. 効率性と公平性を両立させることは困難であることを具体的な政策を例にして説明しなさい。 (10 点)